

【家庭数配布】

小中一貫校 南アルプス市立白根飯野小学校

学校だより

# 白根飯野 桜梅桃李

【学校教育目標】

～郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども～

【9年間で目指す児童像】

～思いやり、創造力、すこやかな体をもち、

未来を担う 白根こまっ子～

令和8年1月14日 No15 文責 保坂 泉(校長)



## “新春” 今年もよろしくお願ひいたします。

穏やかな晴天の元日。清々しい気持ちで朝日を拝み、令和8年を迎える。ご家庭におかれましては、この冬休みをいかがお過ごされたでしょうか。家族そろって、晴れやかな気持ちで新年を迎え、ゆっくりと家族の絆を深められたことだと思います。皆様にとって、夢や希望に満ちた1年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

私にとって、昨年は還暦を迎えるまでの人生を振り返り節目としてのけじめをつける年になりました。そして新たな年を迎える、次の節目に向けて自己を見つめ直し、人間力を向上できるよう目標を掲げたところです。目まぐるしく変化する社会情勢や国際情勢、AIをはじめとする次々に改善される技術革新、それに伴って突き付けられる社会問題や教育課題。これから時代、私たちはそれらに対応して克服していかなければ生き抜いていくことはできません。常に変化する社会に対して、自分も変化し続けなければなりません。それには年を重ねても、常に学び続けていくことが必要になります。今までの経験を生かし、柔軟な思考をもってバージョンアップしていくことが求められます。限られた残りの人生を悔いのないように全うするために、1日1日を大切にして生活していくことを思います。



年は大きく違いますが、目まぐるしく変化する予測困難な未来を生き抜いていかなければならぬ児童にも同じことが言えるのではないでしょうか。多くの人と関わりを持つ中で、様々な困難を乗り越えていけるよう、基礎になる知識や技能、場面に見あった判断力・思考力・表現力、経験したことのない事象への対応力、未知の世界への想像力、新たな創造力・・・を身につけることが求められます。さらには心身両面を豊かにしなければなりません。

これらを身につけるには、学校だけで完結することは当然できません。児童が生活しているすべての場が、力や心を育む学びの場であると考えます。ご家庭におかれましても、このことを頭の片隅においてお子様に接していただけることをお願いしたいと思います。そして、ご家庭と学校が連携して未来を生き抜いていける児童を育んでいけるようしていきたいと思います。

これまでと同様、ご理解とご支援を賜れますようお願い申し上げます。

## ～「午年（うまどし）」あれこれ～

令和8年は「午年」です。そこで、「午年」について、ちょっと調べてみました。

・「午（うま）」は、上下に動かして餅をつく杵の形が元。交互に打つ動作から「交差」や「切り替え」を意味します。このため、午は1日の前半と後半を分ける概念としても使われ、「午前」「午後」という表現が生まれました。

・馬は力強く、スピーディーに草原を駆け抜ける。躍動感にあふれ、本能的に前へ前へと進む。そこから「前進」「飛躍」「行動力」の象徴とされています。古くは、織田信長が明智光秀に急襲され自害した本能寺の変（1582年）、赤穂浪士の討ち入り（1702年）などがあります。いずれも目的を果たすために突き進んだ行動です。

今年も“ウマく”いきますように！

### 【3学期始業式で話したことは…】

～前置きは省略します～

3学期はとても短い学期です。修了式のある3月25日まで、学校に来る日は48日、6年生は、卒業式が3月19日に行われる所以、学校に来る日は45日です。とても短い3学期ですが、みなさんにとっては、今まで以上に大切な時期になります。それは、この3学期が1年間のまとめをするとともに、新しい年に向けての準備をする学期だからです。6年生は、4月からは中学生となり、新しい世界での生活が始まります。5年生は、4月から最上級生として、この白根飯野小学校を引っ張っていくリーダーとなります。4年生は、高学年の仲間入りをして、5年生を支えて頑張ってもらうことになりますし、3年生、2年生、1年生も4月にはそれぞれ一つ上の学年になり、下級生の面倒を見たり、新しい勉強が始まります。そんな4月から始まる「新しい世界」でも、きちんと自分の力を發揮して頑張ることができるよう、この3学期にはここにいるみなさん一人一人がこれまで以上に前向きに物事に取り組み、しっかりととした力をつける学期にしてほしいと思います。

そのために、とても大切なのが「目標を持つ」ということです。1年間かけてじっくり取り組んでいく目標を持つことも大切ですが、3学期が始まるこの時期に、みなさんにはあまり大きな目標ではなく、毎日続けられそうな目標を決めてほしいです。3学期の間にできるようになりたいことを自分なりの目標にして取り組んでいくことで、今よりも成長した自分になれるはずです。冬休みの間に今年1年の目標を決めて、すでに頑張りはじめている人もたくさんいると思いますが、まだの人は今からでも大丈夫です。ぜひ、自分なりの目標を決めて、その実現に向けて頑張る3学期にしていきましょう。

今年は午年の年です。みなさんは、「天馬空を行く」ということわざを耳にしたことはありますか。これは、常識や既成概念にとらわれず、自由奔放で独創的な発想や行動をすることを表すことわざです。天に昇る馬が空を駆け巡るという、現実離れした雄大なイメージから、型にはまらない大胆さやスケールの大きさをたとえています。この言葉は、発想力や想像力が豊かな人物を評価する場面で使われることが多く、必ずしも否定的な意味ではありません。むしろ、他人には思いつかない視点や、新しい道を切り開く力を称える表現として用いられます。みなさんも、こんな人になってもらえたなら嬉しいです。



みなさんが素晴らしい1年を送れることを願っています。今年も頑張っていきましょう。

### 【校長の独り言…】～話し上手にするには、聞き上手になること！～

またまた子育てのこと。うちの息子は、そんなに自分のことを話そうしてくれません。（今に始まることではないのですが…。）様々な理由があるのかと思いますが、最近、それって、自分がいけないのかったのなあ？って思いました。振り返ってみると、

父：「今日の学校、どうだった？」 息子：「別に。」「特に何もなかった。」「いつもと同じ・」  
冷静に見ると、息子は何を答えていいのかわからなかったのかもしれません。答えとして何を求めているのか判断に困ってしまっていたから、そんな答えになっていたのかもしれません。

父：「休み時間に誰と遊んだの？」「今の算数の勉強は難しいでしょ。どこが難しい？」

なんて問いかけると、困ることなく答えてくれたのかもしれません。質問する側が、具体性をもって尋ねてあげることが大切なかもしれません。それに加えて、共感する姿勢もあればより丁寧に、こちらが意図していること以上のことを話してくれたんだと思います。今になって気づいても遅いかもしれません、これを読みの方々には、生かしてもらいたいです。学校では理解することもさることながら、表現することを大切に考えています。表現することで理解や思考を深めることを狙っています。どうぞ、ご家庭でもお子様が話すことをいとわず、話し上手表現上手になれるよう、日頃からの会話を大切にしていってくださいと思います。